

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学		選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>本講義では、福祉心理学の基礎的な理論や実践的な応用事例を学び、福祉の分野で活躍するための知識やスキルを身につける。</p> <p><概要>高齢・障害・児童・地域等の福祉領域における対象の理解を心理学的視点から解説する。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	本講義では今日的な話題を取り扱う。日ごろから報道機関のニュースなどに関心をもつこと。				
教科書	なし				
参考書	なし				
外部教材	適宜プリントを配布する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	福祉の対象者や集団の心理を社会情勢等との関連から説明できる。			HSU(1)、HC(1)、(2)	
②	福祉心理学の歴史と理念について説明できる。			HSU(1)、HC(1)、(2)	
③	福祉領域の各種の制度を心理学視点から説明できる。			HC(1)、(2)	
④	心理学的支援の中で制度や社会サービスを活用するための知識を身に着ける。			HC(1)、(2)	
⑤	福祉領域における心理的支援のあり方について説明できる。			HC(1)、(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価、他) を行う	講義	シラバスを精読する。	4	
2	高齢期における幸せの心理学的理解	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
3	認知症高齢者の心理学的理解	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
4	高齢者虐待の心理学的理解	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
5	延命医療をめぐる問題の心理学的理解	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
6	8050 問題への心理学的アプローチ	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
7	児童虐待の心理学～嬰兒殺から青年期の虐待と保護施設～	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
8	心理学的エビデンスを福祉領域での個別支援に活用する①	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
9	ひきこもり問題の心理学と実際的な支援	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
10	がん医療における心理学的視点	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
11	家族福祉：お金と幸せの関係	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
12	「幸せ」になるためには何をすればいいか	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
13	若者の「生きづらさ」と心理学的視点① レジリエンスについて	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
14	若者の「生きづらさ」と心理学的視点② 恋愛心理学	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
15	心理学的エビデンスを福祉領域での個別支援に活用する②	講義 グループワーク	当該領域の講義科目の復習	4	
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	0	0	50	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑤について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。				試験の解答例を Teams にて提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義内容の要約と感想をリアクションペーパーとして提出する。理解度を確認し意欲的に学ぶ姿勢を評価する。				内容について講義中にフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士として福祉関係事業所等で 22 年の経験がある。						
実践的授業の内容	各回では実践事例を提示し、理論的解説と並行して講師が考える実践的な解決方法を講義する。						
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公認心理師の養成カリキュラムにおいて、本科目は必修科目である。 <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 リアクションペーパーについては、生成 AI での作成を認めない。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更があり得る。 						